



第5回 長崎大学病院 ICLSコース報告書



長崎大学病院は、救急医療教育の一環として、全研修医の日本救急医学会認定『ICLSアシスタントインストラクター』資格取得を目指しております！

平成26年11月1日(土)開催

**共催：長崎シミュレーション教育研究会
長崎大学病院 医療教育開発センター
救急医療教育室**

協力：日本光電九州株式会社

コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

ICLSとは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。身につける行動の目標は以下の通りです。

- 蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- BLS(一次救命処置)に習熟する
- AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- 心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- 除細動の適応を判断できる
- 電気ショックを安全かつ確実に行なうことができる
- 状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- 気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- 状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- 治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

実施結果

受講生12名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。

また、スタッフ(コースディレクター2名、インストラクター3名、アシスタントインストラクター9名)計14名で指導を行い、2ブースを問題なく運営した。

※スタッフ詳細はP.4



◆実施内容◆

開催日時	平成26年11月1日(土) 9:20～17:05		
受講者数	12名		
対象	研修医		
場所	長崎大学病院 シミュレーションセンター、リハビリ室、第四会議室		
スケジュール			
		グループ(1)	グループ(2)
9:00～9:20	0:20	受付	
9:20～9:30	0:10	オリエンテーション	
9:30～10:05	0:35	BLS+AED	
10:05～10:15	0:10	休憩・移動	
10:15～11:15	1:00	気道管理(A)	モニター(B)
10:15～10:25	0:10	休憩・移動	
11:25～12:25	1:00	モニター(B)	気道管理(A)
12:25～13:15	0:50	昼食	
13:15～13:20	0:05	BLS・ALSデモンストレーション	
13:20～14:30	1:10	チーム蘇生(B)	チーム蘇生(A)
		VF/VT	VF/VT
14:30～14:40	0:10	休憩	
14:40～15:25	0:45	non VF/VT (A)	non VF/VT (B)
15:25～15:40	0:15	休憩・移動	
15:40～16:40	1:00	メガコード(A)	メガコード(B)
16:40～17:05	0:15	終了式・修了証授与式	

◆アンケート◆ 受講者からの声

フライマリ救急でも、実際に行動に移すまでは、自分にできるのかな？という恐怖心の方が大きかったが、今日何をすべきかという知識の上でシミュレーションを重ねることで実際に行動に移せる気がしました。

1つ1つの行為を統合して考えることができるようになった。

今まではBLSまでしかできず、その後の対応は分からなかったが、受講してさらに先の対応を学ぶことができた。

誰が運ばれてきても、おろおろするか、受け身でうろろする事しかできなかったが、何が必要か等「先」「やっていること」が理解し、イメージできるようになった。次からは能動的に動けるようになったと思います。

客観的には冷静に考えられるのに、自分がいざリーダーになると周りが見えなくなってしまうことが分かりました。

どのように蘇生を行っていくかの流れを理解することができた。

反復したので、少し自信がついた。

◆アンケート◆

スタッフの声

1) 受講者の態度・意欲はどうだったか？

- ・学習するにつれ、皆さん声も出てきて、良かったとも思います。
- ・時間が経過するにつれて真剣な様子が出てきて良かったです。
- ・良好、とてもよかった。十二分にありました。
- ・積極的に取り組んでいたと思います。
- ・十分だったと思います。
- ・質問も多く問題なかった。
- ・積極的で大変好感が持てた。



2) 予備知識(予習含む)はどうだったか？

- ・個人差を感じた。
- ・経験しているかによって手技レベルの差はあったが、特に問題はなかった。
- ・普通
- ・予習はされていないが、判断は良好。
- ・予習はあまりしていないと思います。
- ・予備知識も十分だったと思います。
- ・人によってばらつきがあった。予習を事前に促す必要あり。



3) ディレクター、インストラクター、アシスタント、チューターの指導はどうだったか？

- ・分かりやすく指導されていたので、私自身も勉強になった。
- ・受講生に知識を伝授し、一緒に考える態度を見習いたい。
- ・専門的知識もあり、素晴らしかった。
- ・2年目の先生も落ち着きがあって、説明等上手だった。
- ・同じ班のインストラクターの新しい気付きが得られてよかった。
- ・協力してワークショップが行えた。
- ・場を盛り上げながら参加されていました。
- ・みなさんしっかりと理解した上で行っていた。一緒にできて楽しかった。
- ・非常にみなさん明るく協力的で良かったです。
- ・たくさん助けて頂き助かりました。指導法、言葉使い等勉強になりました。
- ・何度かインストラクションをすることができて成長しているのを感じました。



4) 今後について、ひとこと

- ・継続してほしい。
- ・ICLSを長崎県で盛り上げて行きましょう!!!
- ・年に数回してください。
- ・続けてください。また参加したいです。
- ・インストコースを開催したい。

●改善点●

- ・リハ室が暑かったが、すぐに対応してくれた。
- ・経験している科によって手技レベルの差があった。グループ分け要注意。
- ・骨髄針によるルート確保についての説明。
- ・ハートシムの操作に慣れる必要がある。



準備する資機材リスト(2ブース分)

資機材名	必要数	備考
ハートシム、操作用PC	3	予備の1台を含む
レサシアン	4	1ブースに2
バックバルブマスク	2	
AEDトレーナー	4	複数機種 (うち1台、本物のAEDを日本光電から借用)
気道管理トレーナー	2	
モニター付き除細動器	2	単相性と二相性を1台ずつ (1台は日本光電から借用)
気道管理ボックス	2	各ブースに1箱ずつ
内訳)		
注射器10ml		
バイトブロック		
吸引チューブ		
エアウエイ		
経鼻エアウエイ		
聴診器		
ポケットマスク		
喉頭鏡(4.0)		
喉頭鏡柄		
チューブ固定具		
酸素マスク		
酸素カニユラ		
挿管チューブ		
スタイレット		
CO2チェッカー		
テープ		
点滴	2	各ブースに1つずつ
点滴スタンド	2	各ブースに1つずつ
ワゴン	2	
骨髄針		
聴診器	2	
アルコール綿	多めに	
タオル	4	
ホワイトボード	2	
ホワイトボードマーカー4色	8	
ストップウォッチ	2	
メトロノーム		
延長コード	4	



**長崎大学病院
医療教育開発センター
救急医療教育室**

〒852-8501

長崎市坂本1丁目7番1号

電話 (095) 819-7881

FAX (095) 819-7882